

科目名	基礎演技Ⅲ							年度	2025
英語科目名	Basic Acting Ⅲ							学期	前期
学科・学年	声優・演劇科 1 年次	必／選	必	時間数	105	単位数	3	種別※	実習+実技
担当教員	安奈ゆかり、オーハシヨースケ		教員の実務経験		2 0 年	実務経験の職種		俳優	
【科目の目的】									
俳優としての技術能力の向上を目指す。そして、基本を大切にした授業を行う。演劇は共同作業であることから、作品を作り上げて行く過程で生ずる様々な問題を、お互いの立場を尊重しながら解決していく方法を学ぶ。演劇を学ぶことを通して、個人的にも集団的にも、尚且つ肉体的、精神的に成長したことを実感できる授業を目指す。									
【科目の概要】									
個々の資質を伸ばしながら、呼吸法・発声法・発音訓練、それに伴う身体訓練などを含む演技の基礎を学ぶ。									
【到達目標】									
学生は発声法・滑舌はもとより、表現の内容が他者（観客）に正確に伝えられる技術の基礎を身につける。俳優としてチームの中で、リーダーシップを取り、作品作りへの新鮮なアイディアを開いた思考の中から想像力を広げ、提案できる実力をつける。そして、肉体と心そして言葉が繋がり、リアリティーのある言葉と説得力ある台詞を伝えることができる俳優となることを目標とする。									
【授業の注意点】									
学生、教員がお互いを尊敬しあい、和やかに、かつ礼儀正しく行われることを基本とする。理由なき欠席・遅刻は認めない。携帯電話、スマートフォンの電源は切る、私語は慎む等、社会の常識的な行動は常に意識すること。課題には積極的に取り組むこと。社会性がない者は役者としても大きな欠陥があることを理解すること。成果も大切だが、取り組む姿勢を最も大事にしなければならない。また、授業時数4分の3以上出席が必須。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	腹式呼吸が完璧にできており、長い台詞・短い台詞を正しい発声法とプレスポイントを駆使することができる。	概ね腹式呼吸ができていますが、息の量が少なくなった時に咽頭への力みが生じる発声をしている。	腹式呼吸を理論的に理解しているが、訓練不足により結果が出ていない。	腹式呼吸を理論的に理解できず、訓練方法の意図も理解できていない。	腹式呼吸やその訓練の重要性を理解せず、授業内において出席意欲を感じられない。				
到達目標 B	初見の課題において、母音・子音・鼻濁音・母音の無声化を的確に区別し、台詞として表現することができる。	母音・子音・鼻濁音・母音の無声化を自力で区別することができ、実践することができる。	母音・子音・鼻濁音・母音の無声化の理論を理解することができるが、自力で区別することができない。	母音・子音・鼻濁音・母音の無声化の理論を理解することができず、区別していることができない。	母音・子音・鼻濁音・母音の無声化の理論を理解しようせず、授業内において出席意欲を感じられない。				
到達目標 C	戯曲の内容・登場人物・作者の意図を自分なりに解釈し、作品について語ることができる。	戯曲の内容・登場人物・作者の意図を自分なりに解釈し、作品のテーマを理解している。	戯曲の内容・登場人物の相関を理解している。	戯曲の内容・登場人物の相関を理解しようとする意欲は見える。	戯曲を読解しようとする意欲がない。				
到達目標 D	自分の役割を理解し、自己都合を一切感じさせず他者の感情に訴えかける表現を行うことができる。	自分の役を理解し、他者の感情を考慮しながら“役としての”コミュニケーションを図ることができる	自分の役を理解し、他者の感情を考慮し用としているが“役としての”コミュニケーションを図ることができない。	自分の役を理解できず、他者と目を合わせてコミュニケーションを図ることができない。	自分の役を理解しようとして、他者とコミュニケーションを図ろうとしない。				
到達目標 E	遅刻・欠席をしない	遅刻はあるが欠席は少ない	遅刻・欠席が少ない	遅刻・欠席が多い	遅刻・欠席が非常に多い				
【教科書】									
台本（テキスト）・資料など、必要に応じて授業内に配布。									
【参考資料】									
特になし									
【成績の評価方法・評価基準】									
授業に対する積極性や授業態度、課題・実技への取り組み、内容について評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		基礎演技Ⅲ			年度	2025
英語表記		Basic Acting Ⅲ			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法 自己評価
1	自己紹介	コミュニケーションをとる		話す	自身のことを伸び伸びと話すことができる	
				聴く	他人の話に興味を持つことができる	
2	目標作成	自己回顧		自己	自己を見つめ直す	
				演技	演技課題を見つける	
				発声	意図した発声が出来る	
3	身体づくり①	筋力強化		サーキットトレーニング	筋力強化	
				体幹トレーニング	体幹強化	
				自身の現在地	自身の身体を知る	
4	コミュニケーション	自己研鑽		協調性	協調性をもつ	
				観察力	観察力を養う	
				行動力	行動力をつける	
5	コミュニケーション	自己研鑽		思考力	思考力を養う	
				感受性	感受性を強くする	
				柔軟性	柔軟性をもつ	
6	身体づくり②	筋力強化		サーキットトレーニング	筋力強化	
				体幹トレーニング	体幹強化	
				自身の現在地	自身の身体を知る	
7	自己反芻	自己反芻		自身の癖	自身の癖を理解する	
				ポジション	ニュートラルポジションを知る	
				立ち位置	個人の立ち位置を理解する	
8	距離感	自己反芻		距離感	物理的な距離感を知る	
				距離感	距離感を体感する	
				距離感	人との距離感を認識する	
9	距離感	自己反芻		距離感	会話の距離感を体感する	
				距離感	台詞における距離感を知る	
				距離感	芝居における距離感を知る	
10	身体づくり③	筋力強化		サーキットトレーニング	筋力強化	
				体幹トレーニング	体幹強化	
				自身の現在地	自身の身体を知る	
11	役を作る	インプロビゼーション		シアターゲーム	瞬発力を養う	
				シアターゲーム	創造性を養う	
				シアターゲーム	即興性を学ぶ	
12	役を作る	インプロビゼーション		アクション	アクションを学ぶ	
				リアクション	リアクションを学ぶ	
				行動力	行動力をつける	
13	台本	読解		戯曲・台本理解	戯曲や台本を読み解く	
				創造力	戯曲や台本から想像する	
				イメージ	イメージする力を養う	
14	人物考察	登場人物考察		戯曲・台本理解	戯曲や台本を読み解く	
				登場人物	人物のバックグラウンドや人物像を考える	
				役作り	役作りを仕上げる	
15	まとめ	演技		戯曲・台本理解	戯曲や台本を読み解く	
				登場人物	人物のバックグラウンドや人物像を考える	
				役作り	役作りを仕上げる	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等